

## 平成14年度 センター活動報告

菫 沢 賢 一 (センター担当課長)

創価教育研究センターでは、創価教育の思想と実践の研究を行い、本学の発展に資するため、次の事業を行っている。①資料の調査、収集、整理、保存及び管理 ②資料の展示 ③資料の研究及びその成果の発表 ④研究成果の教育活動への還元 ⑤講演会、公開講座、シンポジウム、セミナー等の開催 ⑥その他必要な活動。これらの諸活動を展開するために、今年度の事業として、以下のとおり実施した。

### 1. 学術調査活動

#### ①鹿児島県・出水市(窪田家)調査〔2002年5月30日－6月2日〕

西町、白金尋常小学校において牧口常三郎校長のもとで教員として薫陶を受けた窪田正隆氏所蔵の文書類、写真資料、書籍などの調査を行った。調査の結果、『窪田孟弘家文書目録』を作成した。

#### ②伊豆・下田調査〔2002年7月5－6日〕

昭和18(1943)年7月6日の賀茂郡浜崎村須崎(現・下田市須崎)における牧口常三郎逮捕から59年。現地調査と研究会を実施した。地元研究者との交流、先行研究の報告とディスカッションにより、今後の研究課題が明らかとなった。

#### ③大分県日田郡前津江村渡邊干城家蔵調査〔2002年7月19日－25日〕

牧口常三郎は明治44年(1911)年8月、農商務省山林局の委嘱を受け、大分県津江・熊本県小国地域の農村調査を行い、調査報告書を作成したとされている。しかし、この報告書が未発見のため、津江・小国地域の調査を開始した。

渡邊家については、これまで3回の調査をおこなったが、牧口が同家を訪問した形跡はなかったが、渡邊勘吾氏が収集した、明治、大正期の図書・文献が豊富にあり、今回の調査ではこれらの資料目録、渡邊家伝来の近世文書等の目録作成を行った。2003年3月末に最終調査を実施する。

#### ④柏崎調査〔2002年8月6日－8日〕

牧口常三郎が幼少期を過ごした新潟県刈羽郡荒浜村(現・柏崎市)の当時の状況を産業、経済、教育、交易の観点から資料調査を行った。調査は、柏崎市立図書館所蔵の牧口本家の文書を中心に行った。荒浜村に関する本格的文書調査は初めてのことである。今後、関係文書の翻刻を行う。

#### ⑤小樽・札幌調査〔2002年9月6日－11日〕

牧口常三郎の小樽時代は、推測が事実のように記述されている場合もあり、事実と推測・伝聞の明確な区別が必要である。今回は、牧口の小樽時代の研究の糸口として、荒浜・新潟県人脈、新潟との交易に絞り、小樽市博物館及び小樽市立図書館郷土資料を調査した。その他、札幌において北海道立文書館、北海道大学、北海道教育大学で資料調査及び北海学園で牧口の北海道人脈の補足調査等を行った。

## 2. 学内講演会

- ①松島淑（聖教新聞社論説主幹）「グレート・ダイアログの源流—池田・トインビー対談—」  
水戸昭（元聖教新聞社写真局長）「歴史的対談を写す—トインビー対談のエピソード—」  
〔2002年5月2日〕
- ②篠原誠（本学参与・センター顧問）「戸田城聖と学生 第1回—東大法華経研究会50年記念—」  
〔2002年5月24日〕
- ③宮田幸一（本学教授）「宗教における原理主義と改革主義—牧口常三郎の挑戦—」〔2002年6月6日〕
- ④神立孝一（センター長）「創価教育の源流と現在」創価大学・第30回夏季大学講座〔2002年8月25日〕
- ⑤劉徳有（中国対外文化交流協会常務副会長）「池田提言の歴史的意義と今後の日中関係—日中国交回復三十周年記念—」〔2002年9月20日〕
- ⑥角山榮（堺市博物館長・和歌山大学名誉教授）「私の見た草創期の創価大学」〔2002年10月1日〕 共催：比較文化研究所
- ⑦佃操（本学顧問・センター顧問）「創立者と学生—女性教育の視点から—」〔2002年10月15日〕

## 3. 学外講演会

- ①神立孝一（センター長）「牧口先生の実践と九州」久留米市・久留米牧口記念会館〔2002年3月10日〕
- ②伊豆、下田現地調査及び研究会〔2002年7月5日、6日〕
- ③神立孝一（センター長）「創価教育の源流」関西創価学園・第6回夏季講座〔2002年8月10日〕
- ④塩原将行（センター事務長）「歴史発見！日本初の本格的農村調査 内郷調査を語る」相模湖町・内郷村農村調査を学ぶ会〔2002年10月19日〕

## 4. 研究会

- ①川島清（群馬英数学館・育英短期大学講師）「戸田城外著『推理式指導読方』における総合学習〈国語〉の可能性」〔2002年5月26日〕
- ②伊豆、下田現地調査及び研究会〔2002年7月5日、6日〕
- ③馬場百々子（前富山市立神明小学校校長）、吉川成司（本学助教授・センター員）「戸田城外著『中等学校入学試験の話と愛児の優等化』にみる教師論と家庭教育論」〔2002年10月12日〕
- ④賈蕙萱（北京大学池田大作研究会会長）『私と池田大作研究』〔2003年1月22日〕

## 5. 紀要刊行

- ①『創価教育研究』第2号 〔2003年3月16日〕

## 6. 翻刻・データベース作成

- ①『牧口常三郎全集』未収録はがき3点の翻刻
- ②創価大学学生自治会発行『デイリー新報』入力（継続）
- ③白金尋常小学校『校長日誌』『学校日誌』翻刻（継続）
- ④『創価教育学体系』『人生地理学』書評翻刻

## 7. 展示活動

- ①創価大学の歴史—開学から現在まで—、卒業記念文集・学生に頂いた創立者揮毫—開学以来の学生記録—、池田・トインビー対談から30周年—グレート・ダイアログの源流—を主題に、本部棟第3・第4展示室において、企画展を5月1日から5月30日まで開催、一般公開をした。

## 8. その他

- ①大学史資料収集のため、規程の整備について検討し、「学校法人創価大学文書取扱規程」第20条(文書の移管)の改正及び「創価教育研究センターへの学内文書等の移管等に関する規程」が承認され、平成14年4月1日から施行された。  
これにより、創価教育研究センターへ本学が保有する本学の歴史に係わる学内文書の移管及び印刷物等を納本することが規程に定められた。
- ②オーストラリア・クリーズランド大学教授、デボラ・ジェーン・モーズリー氏、メアリーマウント小学校日本語教諭、村木寿々氏がセンターを訪問し、塩原事務長と「創価教育」に関して懇談をした。〔2002年9月23日〕
- ③東京大学総合研究博物館第10回学芸員専修コースに葦沢担当課長が受講し、所定の課程を修了した。この講座は学芸員のリカレントプログラムの一環として開催されたものである。〔2002年11月11日～15日〕
- ④北京大学池田大作研究会、会長・賈蕙萱教授、理事・周季華教授が来室され、池田研究に関して、神立センター長、塩原事務長と懇談をした。〔2002年12月20日〕

以上が平成14年度の主な活動であるが、明年度も関係資料の収集やそのための調査活動、講演会、研究会の開催などの諸活動を積極的に、更に幅広く実施するとともに、収集資料利用のためのデータベース作成を行い、今後とも研究活動等の事業に本格的に着手していきたい。

### 主な寄贈図書

- ① 窪田正隆氏旧蔵書籍  
資料紹介及び前頁学術調査活動でも紹介した窪田正隆氏の旧蔵書籍、和装本126点、洋装本178点、計304点が、窪田孟弘氏よりセンターに寄贈された。明治・大正期の教育関係の書籍で、『窪田孟弘氏寄贈図書目録』を作成した。
- ② 安島博文氏旧蔵書籍  
平成14年10月1日に逝去された安島博文氏の収集した書籍雑誌等約2000点が故人の遺志によりセンターに寄贈された。氏は、牧口常三郎、戸田城聖に関する貴重な書籍等を収集されてきた。現在、寄贈図書目録を作成中である。

創価教育研究センターの活動の趣旨に賛同され、貴重な書籍や大学の歴史資料等をご寄贈くださった全ての方々に心より御礼の意を表します。